

先週末より、幼児クラスのお子さんの発熱と咳症状が出始めました。  
 受診の結果、園や家庭内でのケースから下記の疑いと診断されています。  
 潜伏期間がありますので、体調観察を十分に、症状がありましたら早期に受診・療養をお願いします

2021.8.23(月)

## RSウイルス感染症

主な症状	潜伏期間	感染経路	登園のめやす
<ul style="list-style-type: none"> <li>・咳や鼻水、喘鳴など</li> <li>・発熱</li> <li>・乳児期は重症化し肺炎など</li> </ul>	4～6日	飛沫 接触	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと

クラス名	ちっち	ぐんぐん	にこにこ	わいわい	らんらん	すいすい
人数	3 (疑い2)	3 (疑い4)	3 (疑い)	1 (疑い)	2 (疑い)	1 (疑い)

- ★ ワクチンはありません。咳エチケットと一般的な予防（手洗い・うがい・おもちゃ消毒等）をします
- ★ 発症した場合には、有効な治療法はありません。  
 乳幼児期の感染は呼吸器症状が重くなることもありますので、咳などがしっかり治まるまでご自宅でしっかり療養するようにお願いします。

- ★ 症状があったら、受診の際に「園にRSウイルス感染症のお友だちがいたこと」をお伝えください
- ★ 上記の診断をされたら、園にお知らせください。再登園時には「登園届」が必要です